

No.
136

北里大学病院ニュースレター
「窓」

Mado



診療科紹介 救急科

地域の救急医療の最後の砦としての 役割を担っています

診療科紹介

救急科

地域の救急医療の最後の砦としての役割を担っています

北里大学病院
救命救急・災害医療センター 診療教授 片岡 祐一



救命救急センターとは

救命救急センターは、初期救急医療機関、二次救急医療機関および救急患者の搬送機関（救急隊）との円滑な連携体制のもとに、重篤な救急患者への医療を確保することを目的に設置された三次救急医療機関と定義されています。重症および複数の診療科領域にわたる全ての重篤な救急患者を、原則として24時間体制で必ず受け入れることや、初期救急医療施設および二次救急医療施設の後方病院として救急搬送患者を受け入れることが主な役割とされています。よって、当センターでは全てホットラインにて、救急出動した救急隊や地域の病院の医師から救急患者の依頼を受け入れています。

当センターの特色

北里大学病院の救命救急センターは、1986年に開設され、主に三次救急医療機関として、地域の救急医療の最後の砦としての役割を担ってきました。受け入れ地域は人口72万人の政令指定都市である相模原市が中心となりますが、県北・県央の座間市、大和市、綾瀬市、東京都の町田市からも多くの患者が搬送されてきます。救急科専門医の資格を持つ救急医を中心に救急医療を展開していますが、365日24時間いつでも緊急で外科手術、心臓カテーテル治療、脳血管内治療、内視鏡治療、集中治療管理などを行うことができます。大学病院であるため、全診療科の専門医のもとで最新の高度な救急医療を提供できる体制にあります。また、平日の日中にはドクターカーの運用を行っており、年間約300件の出動要請があります。ドクターカーによる病院前診療は救命率の向上に寄与し、地域の救急医療への貢献にもつながっています。

厚生労働省による救命救急センターの充実段階評価では、2020年度以降Sランクの評価を受けています。また、2023年に神奈川県救急医療功労者賞を受賞しました。

治療を行っている主な傷病

当センターで救命救急治療を行っている主な傷病は、心肺停止、重症外傷、多発外傷、指肢切断、重症熱傷、急性薬物中毒、敗血症（重症感染症）、急性心不全、急性呼吸不全、多臓器不全、急性心筋梗塞、急性肺血栓塞栓症、急性大動脈解離、大動脈瘤破裂、脳出血、くも膜下出血、重症肺炎、汎発性腹膜炎、急性腸間膜虚血、重症消化管出血、重症急性膵炎、けいれん重積発作、熱中症、低体温症など、多岐にわたります。

当センターでの救命救急治療

当センターは、全ての重症救急疾患に対する治療を行っていますが、特に、外傷治療、急性中毒治療、心肺蘇生、集中治療管理を得意としています。重症外傷に対して緊急の外科手術とカテーテル治療を同時に行うハイブリッド治療、多発外傷に対して複数の外科系診療科によるコラボレーション治療、ECMO（体外式膜型人工肺）を用いた心肺蘇生、中毒に対する毒物分析や血液浄化療法、重症敗血症、重症肺炎、多臓器不全などに対する集中治療管理、重症COVID-19患者へ

のECMO治療などは優れた治療成績を残しています。

重症内因性救急疾患に対する外科治療（開頭手術、開胸手術、開腹手術）、心臓カテーテル治療、内視鏡治療、集中治療管理、重症外傷に対する外科治療（開頭手術、開胸手術、開腹手術、整形外科手術、形成外科手術）などは、24時間いつでも可能な体制にあります。また近年では、救命救急治療において、低侵襲治療の占める割合が増えてきています。当センターにおいても、重症外傷に対する経カテーテル動脈塞栓術、急性大動脈疾患に対するステントを用いた血管内治療、クモ膜下出血に対する脳血管内治療、脳出血に対する内視鏡治療などが多く行われています。

救急医療以外の役割

北里大学病院は災害拠点病院であり、BCP（Business Continuity Plan：事業継続計画）に基づいた病院の災害対策および災害訓練、DMATの派遣および統括、多数傷病者発生事案への対応など、災害医療体制を当センターの救急医が中心となって発展させてきました。また、当院は国・県の補助金事業により原子力災害医療拠点病院の指定を受けており、有事には地域での診療の完結、原子力災害派遣チームの保有などが規定されています。

当センターにおけるチーム医療

当センターでは、医師だけではなく、看護師、救急救命士、薬剤師、臨床工学技師、放射線技師、リハビリテーション療法士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなど、多職種のスタッフが協働し、チームで救急医療を行っています。このチーム医療の推進により、医療の質および医療安全体制の向上が期待できます。また、救急外来や集中治療室において、患者・家族に対するグリーンケア（悲嘆のケア）や家族支援を多職種から成る医療チームで実施しており、患者満足度の向上に寄与しています。

救急科の救急患者数（2022年度）

1) 救急科患者数（人）	2,623
2) 救急科患者来院手段内訳	
救急車（件）	2,392
直接来院（件）	2
ドクターヘリ（件）	9
3) ドクターカー出動数（件）	298
4) 応需率（%）	97.4
5) 重篤患者数（人）	1,903
6) 救急科入院患者数（人）	1,563
7) 緊急手術（件）	167
8) 主な重篤患者数（件）	1,903
1. 病院外心停止	707
2. 重症脳血管障害	163
3. 重症外傷	233
4. 重症急性中毒	68
5. 重症急性冠症候群	147
6. 重症大動脈疾患	65
7. 重症敗血症	200
8. 重症意識障害	88
9. 重症消化管出血	30



救命救急・災害医療センターHP

地域の医療関係者の方へ

ご依頼は直通ホットライン回線（番号は非公開）の電話でお願いいたします。救急医が直接電話に出ますので、医師からのお電話をお願いいたします。患者の氏名、生年月日、年齢、バイタルサイン、病態などをお伝え下さい。重症救急患者について24時間受け付けています。

Profile / 片岡 祐一（かたおか ゆういち）

- 1991年 筑波大学医学専門学群 卒業、筑波大学附属病院 外科研修医、1992年 北里大学病院 救命救急センター 研修医、北里大学医学部救命救急医学教室 入局。その後、厚生連北信総合病院外科への出向を経て、1999年 北里大学病院 救命救急センタースタッフ（救急外科）、2004年 北里大学医学部救命救急医学 専任講師、2014年 准教授、2018年12月より診療教授。
- 日本救急医学会（救急指導医、救急科専門医）、日本外傷学会（外傷専門医）、日本集中治療医学会（集中治療専門医）、日本外科学会（外科専門医）、日本腹部救急医学会（教育医）、Acute Care Surgery 認定外科医



北里大学病院公式X(旧Twitter)を始めました

当院の最新情報やイベント情報を発信していきます。ぜひご覧ください。

https://twitter.com/kitasato_hosp



医療機関専用のご予約について

医療機関専用電話 (担当) トータルサポートセンター・事務

☎ 042-778-9988

受付
時間

月～金 午前8時30分～午後4時30分
土(第1・3・5) 午前8時30分～午前11時

事前予約サービス(診察予約)ご利用対象の診療科

2024年3月1日現在

消化器内科(上部・下部・胆膵・肝臓)

内分泌代謝内科

循環器内科

腎臓内科

脳神経内科

膠原病・感染内科

呼吸器内科

血液内科【完全予約】

脳神経外科

眼科 ●10歳以下の小児・弱視斜視限定【完全予約】

泌尿器科 ●前立腺癌で放射線密封小線源療法を希望する患者限定

産科 ●ハイリスクの患者限定

婦人科【完全予約】

一般・消化器外科 ●上部消化管外科疾患 ●下部消化管外科疾患

小児科

※申込書及び手順につきましては病院ホームページ(<https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/concern/introduction/index.html>)をご覧ください。

※完全予約以外は紹介状を持参の上、直接ご来院もしくは「予約センター：当院の診察券をお持ちの患者専用」にてご予約をおとりいただくことも可能となっております。

※ご紹介用の「外来担当表」は病院ホームページ(https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/download/section/department/gairai_syokai.pdf)に毎月掲載しております。

検査サービス

2024年3月1日現在

生理検査

MRI検査

核医学検査

CT検査

PET-CT検査

内視鏡検査

※申込書及び手順につきましては病院ホームページ(<https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/concern/kensa/index.html>)をご覧ください。

セカンドオピニオン・オンラインセカンドオピニオン

2024年3月1日現在

医療機関からの申込制となっております。

※申込書及び手順につきましては病院ホームページ(https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/visitor/gairaishinryo/second_opinion.html)をご覧ください。

